

資料提供(投げ込み) 令和6年2月1日(木)	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所 属	職・氏 名
久居総合支所 地域振興課 (電話059-255-8819)	地域振興課長 垣野 哲也

榊原の土産物「古代からの贈り物」シリーズ第2弾完成に係る 市長訪問について

令和4年8月にリニューアルオープンした津市榊原温泉湯の瀬において、榊原産の古代米を使用した洋菓子（フィナンシェ、マドレーヌ）を販売しています。この度、シリーズ第2弾として、バターサンドとクッキーが完成しました。

この洋菓子は、榊原温泉への新たな誘客と地域の活性化を目指して地元で発足した榊原の地域振興を考える会の依頼により、三重県立久居農林高等学校の生徒が榊原特有の土産物としてレシピを開発したもので、材料に榊原産の古代米と同校が開発したジャムを使用しています。また、製品化は久居区域内の店舗で洋菓子とパンを扱うラ・ミッシュが行っており、3者の連携によって完成しました。地元の思いと地元の高校生の発想を地元の原料で地元の業者が製造した新しい榊原温泉のお土産となります。

つきましては、関係者による市長訪問と、榊原の土産物のお披露目を下記のとおり行います。

記

- 日時
令和6年2月9日(金) 16時00分から16時30分まで
- 場所
秘書課応接室(市本庁舎4階)
- 出席者
榊原の地域振興を考える会
会長 奥山 知喜
副会長 伊藤 博和
久居農林高等学校
食品コース教諭 高山 智也
学生 生物生産科食品コース 2年 山口 愛美、小野寺 七織
株式会社 OMIMO(※古代米生産業者) 代表取締役 萩 昭裕
津市榊原温泉湯の瀬
総支配人 重松 万里
副支配人 小林 誠
- お披露目の品
「古代からの贈り物」シリーズ第2弾
榊原産古代米を使用したバターサンドとクッキー